

RoHS指令/REACH規制 化学物質規制の最新情報

Zoom Webinar ON-LINE 開催

▶日時 **2021年2月25日(木) 13:30~16:10**

第1部 13:40~15:10

▶環境規制で変わる
業界対応

▶講師

青木 正光

(JETPA/Circuit Network)



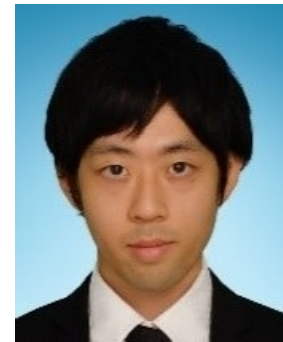
第2部 15:10~16:10

▶分析実務から見た
RoHS指令
-制限物質追加時の留意点-

▶講師

吉田 貴則

(株式会社 産業分析センター)



※公開講座内容について、都合により一部変更になる可能性があります。ご了承ください。

お申し込み方法



[F3D実装協働研究所HPお申し込みフォーム](#) もしくは
[メール](#)にてお申込みください。

※メールでお申し込みの際は、**お名前、ご所属、**
Zoom接続可能なメールアドレスをご記入下さい。

お問い合わせ

大阪大学フレキシブル3D実装協働研究所

<http://www.f3d.sanken.osaka-u.ac.jp/>

Email: f3d@sanken.osaka-u.ac.jp

TEL: 06-6879-4295 (平日9:00~17:00)

地域企業イノベーション支援事業 第6回 F3D 公開講座

「RoHS 指令/REACH 規制 化学物質規制の最新情報」

【開催趣旨】

EUにおいて電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関する「RoHS 指令」が2003年に告示、2006年から施行されました。現在フタル酸エステル4種類の規制物質が追加され制限物質は10物質となるなど大幅に改定を加えながら、現在に至るまで施行されています。RoHS規制には技術的・科学的に代替が不可な用途に制限付きで規制の除外が認められている物質もありますが、今後代替可能な物質の出現により規制物質は増えていく方向にあります。今後ますますグローバルな市場に出ていく必要のある日本企業にとっては、遅かれ早かれ対応の必要がある課題となります。本講演では、RoHS指令の今後の動きと環境問題提起となった背景およびREACH規制について、さらには次世代通信システムの5G/6Gなどの展開により予想される環境問題の課題についてJETPA 青木正光氏から、制限物質追加時に見られる汚染(コンタミネーション)の問題、分析手法に関する留意点など、分析実務者の視点からみたRoHS指令について産業分析センターの吉田貴則氏よりご講演いただきます。ご関心のある皆様にはぜひ本講座にご参加いただき、皆様の事業戦略構築の情報としてお役立ていただければと存じます。

大阪大学 F3D 実装協働研究所

1. 主催：大阪大学 F3D 実装協働研究所、経済産業省近畿経済産業局

後援（予定）：一財）産研協会

2. 日時：2021年2月25日（木）13:30から16:10

3. 場所：Zoom on-line での開催

4. 申し込み登録：参加費無料の事前登録制となります。

お申込みフォーム：<https://forms.gle/REFZu8M553k4RyZJ6>

もしくは、メール：f3d@sanken.osaka-u.ac.jp よりお申し込みください。

1 メールアドレス1名参加でお願いします。（ご所属、お名前、メールアドレス（ZOOM 接続可能））

申込期限は2月19日（金）午後5時と致します。

お問い合わせ：f3d@sanken.osaka-u.ac.jp

詳細については、F3D ホームページをご参照ください。

<http://www.f3d.sanken.osaka-u.ac.jp/>



【講演内容】

13:30～13:35 開会 大阪大学 F3D 実装協働研究所 所長 菅沼克昭

13:35～13:40 主催挨拶
近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業・情報政策課長 大塚公彦氏

13:40～15:10 「環境規制で変わる業界対応」
JETPA/Circuit Network 青木正光氏

概要：電気・電子機器に対して始まった RoHS 指令は、エレクトロニクス業界に大きく影響を及ぼし、多くの企業が対応をするようになった。RoHS 指令の改定案が提案され、規制物質が 10 物質からさらに増える方向にある。このような動きについて環境問題提起となった背景を含め、さらに REACH 規則も含めて紹介する。さらに今、脚光を浴びている次世代通信システムの 5G/6G などの展開により、他の環境問題についても言及し、課題を展望する。



15:10～16:10 「分析実務から見た RoHS 指令 -制限物質追加時の留意点-」
株式会社産業分析センター 吉田貴則氏

概要：2006 年に EU で始まった RoHS 指令は、その後世界に広がっていきましました。2019 年には対象物質にフタル酸エステル類が追加され、モノづくりにおける化学物質管理の重要性は増しています。

講演では、RoHS 指令初期からの分析規格の移り変わりや、制限物質追加時に見られる汚染(コンタミネーション)の問題、分析手法に関する留意点など、分析実務者の視点からみた RoHS 指令を紹介します。



16:10 閉会

注意：講演者、講演内容に関しては、多少の変更はあり得ますことを予めご了承ください。